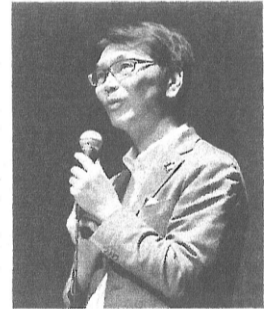


## 胃カメラ検診での 苦痛緩和方法語る 豊橋で講演会

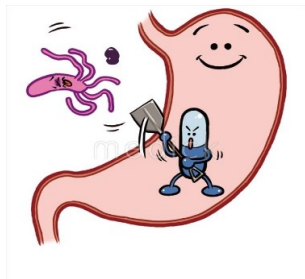
「胃カメラ検診 そのあとは！」をテーマにした豊橋市の西田メディカルクリニック（吉川町）の講演会が西小田原町の穂の国とよはし芸術劇場プラットフォームであり、百人の参加者が西田元彦院長の話聞いた。

西田院長は、「検診前に顔をマッサージュすることや箸をくわえて笑顔を作ってもらったことで胃カメラをのみ込む際の苦痛が軽減された」と説明。胃カメラを挿入している間も緊張を緩和させて苦痛を軽くするため、「ほほ笑んでいるような表情をした犬や猫の写真を見せている」と、クリニ



西田院長は胃がんとの関連が深いピロリ菌の除菌療法についても報告。その後、アマチュア落語家駒久家南朝として活動する蒲郡市の耳鼻科医柘植勇人さんが、創作落語「検診を受けましよう」を披露した。

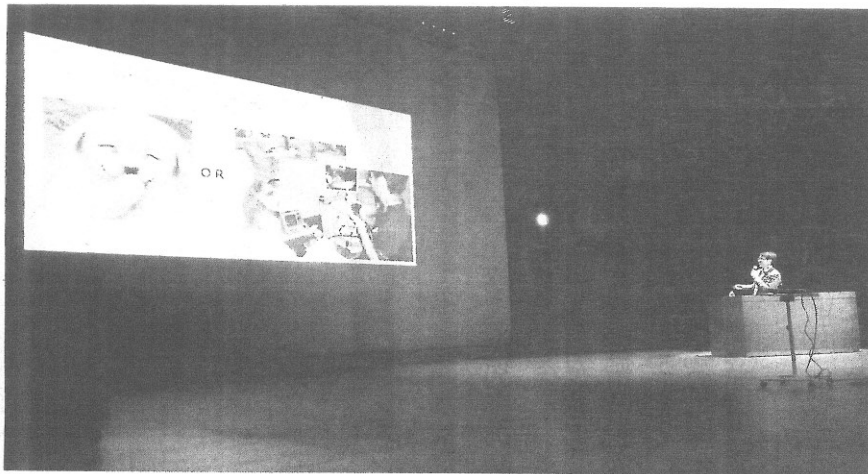
豊橋市は現在、四十歳以上の市民を対象に胃がん検診を実施している。昨年には、五十歳以上が胃カメラを選択できる制度を新たに導入。がん発見率が上がったという。



## 胃カメラやピロリ菌学び

### 西田メディカル クリニック 豊橋で健康講演会

豊橋市吉川町の西田メディカルクリニック（西田元彦院長）は19日、同市の穂の国とよはし芸術劇場プラットフォームで「第36回健康講演会 胃カメラ検診 そのあとは！」（豊橋市など後援）を開催。参加者約100人が胃がん検診やピロリ菌除去などについて知識を深めた。（田中博子）



胃カメラやピロリ菌除菌などについて説明する西田院長＝プラットフォーム

同クリニックでは市民向け健康講演会を定期的に実施。厚生労働省の胃がん検診方法に新しく「検診を開始、約3000

人が受診、うち胃がんなど悪性腫瘍が約0.6%、ピロリ菌陽性者が約8%発見されたことから昨年に引き続き、胃カメラについての講演を実施した。最初に、豊橋市保健所健康増進課の海野聖子さんが「平成29年度豊橋市胃がん検診結果について」を報告。豊橋は胃がんの受診率が低いこと、29年度とそれ以前の検診受診状況と比較し、29年度が受診者が減ったもののがん発見率が上がったことなどを紹介。「がんは早期発見、早期治療をすれば約9割が治ると言われている。がん検診を受けて」と呼び掛けた。

続いて西田院長が「ピロリ菌除菌の実際」と題して講演。「胃がん予防の基本はピロリ菌除菌」として、胃がんとの関連が深いピロリ菌陽性者に対して行った除菌や経過について説明したほか、「笑いで胃カメラが楽になる」と題し、笑顔の写真を見せることで胃カメラ直前の緊張が緩和され受診が楽になった事例など、笑い学会での研究報告について語った。説明

後は、参加者からピロリ菌の除菌や胃カメラ受診について積極的に質問が投げかけられていた。その後は、豊橋市民病院消化器内科の山本英子さんから「胃カメラ検診発見胃がんの治療経過」

と題した講演、楽しく検診の普及を図るための「検診を受けましよう」と題した駒久家南朝さん（豊橋落語天狗連）の創作落語もあり、参加者は楽しみながら健康について学んでいた。

